機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	改定種別	機能要件	実装区分	適合基準日
0110196	2.2.58.	2			・特定信託に係る修正確定申告	標準オプション機能	
0110197	2.2.59.	2			・清算予納申告	標準オプション機能	
0110198	2.2.60.	2			・修正清算予納申告	標準オプション機能	
0110199	2.2.61.	2			・残余財産分配等予納申告	標準オプション機能	
0110200	2.2.62.	2			・修正残余財産分配等予納申告	標準オプション機能	
0110201	2.2.63.	2			・清算確定申告	標準オプション機能	
0110202	2.2.53.	2			・修正清算確定申告	標準オプション機能	
0110203	2.2.54.				ｅＬＴＡＸから、各種申告書別表データを取り込めること。	標準オプション機能	
0110204	2.2.55.				税額計算は、「実装必須機能」として定義する申告区分について適用する。ｅＬＴＡＸで対応している申告区分のエラーチェックのうち、２．２．53．２．で定めるものは、同様に「標準オプション機能」とする。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110205	2.2.56.				ｅＬＴＡＸ等の外部データを取り込み、還付口座情報を更新できること。	標準オプション機能	
0110301	2.2.57.			新規追加	国税情報システムからｅＬＴＡＸに連携される必要なデータをｅＬＴＡＸから取り込めること。	標準オプション機能	
	2.3. 都道府県連携・申告是認						
0110206	2.3.1.		課税標準額通知データによる申告是認（一括処理）		都道府県からｅＬＴＡＸ経由で入手する課税標準額通知データを取り込み、通知データと法人住民税システムの各課税情報を突合して、申告課税内容のチェックができること。 課税標準額通知データが過去の取込データと重複する場合は、重複エラーとする。	標準オプション機能	
0110207	2.3.2.	1			法人番号や納税者ＩＤをキーにして、法人基本情報に登録されている法人か否かをチェックできること。	標準オプション機能	
0110208	2.3.2.	2			未登録の場合は、未登録エラーとして、未登録法人リストを出力できること。	標準オプション機能	
0110209	2.3.3.	1			法人基本情報等の各項目と、課税標準額通知の以下の項目を照合してチェックできること。 ＜チェック対象項目＞ ・法人名 ・通算区分／連結区分 ・法人区分 ・法人税申告期限延長月数 ・災害等延長の申告期限	標準オプション機能	
0110210	2.3.3.	2			法人基本情報等の各項目と、課税標準額通知のチェック対象項目を照合してチェックした結果、不一致の場合は、不一致箇所をリスト出力できること。	標準オプション機能	
0110211	2.3.4.	1			各事業年度の最新の課税情報と突合し、課税計算チェックができること。突合先の課税情報がない場合は、エラーとして該当の通知を確認できること。	標準オプション機能	
0110212	2.3.4.	2			課税標準額や資本金など、税額計算に影響がある内容を突合し、不一致の場合は不一致箇所を確認できること。	標準オプション機能	